

津山市議会議員

政岡あきひろの議会報告

まさおか

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。

ごあいさつ

津山市民の皆様、いつもお世話になっております。「政岡あきひろの議会報告」第8号が出来上がりましたので、ご覧下さい。

この議会報告は、議会が終わる度に作成しています。その議会における、私の質問や執行部の答弁に関する内容はもとより、議場内外で起きた出来事などについて、解りやすく皆様にお知らせするために作成しています。

またその内容は、津山市から配布される広報や議会だより、或いは新聞などのマスコミ報道では、あまり伝えられないものです。しかしながら、実際に今の津山市議会や市役所の中で起きている、真の姿をお伝えしているつもりです。

そのような点を、しっかりと読み込んでいただくことを、心よりお願いいたします。

議会における質問について

さて、今回は議会における質問の仕方について、少し説明しておきます。

まず、本会議において質問を行うためには、事前（一週間前が締切）に発言通告というのをする必要があります。その際、一般質問か議案質疑かを選択します。また、質問方法についても、一括方式で行うのか一問一答方式で行うのかを選択しなければなりません。さらには、どのよ

うなことについて質問するのかという、質問内容をこの通告時に示す必要があります。

私の場合は、この発言通告の二〜三週間前には、質問要旨を固めるようにしています。したがって、関係者への聞き取りや担当部局との折衝は、それ以前から取り組んでいることとなります。そして、その取り組みは、本会議で質問を行う直前まで続きます。

一方で、一つの議会が終わるとほぼ同時に、次の議会における質問のテーマや内容を考え始めるようにもしています。そのような、思いも込めて取り組んでおります。できれば、議会の傍聴や、ケーブルテレビやネット配信の議会中継をご覧いただき、市政に対する関心を深めていただければ幸いです。

平成二十九年

三月議会の質疑内容

それでは、平成二十九年三月議会における、具体的な質問内容をお伝えして行きたいと思っております。

この三月議会において、私は、①市長の施政方針（行政運営及び施策実施全般に関すること） ②財政計画、予算執行に関する事項（第五次総合計画を踏まえた予算運営と財政計画のあり方、方向性）について、一般質問を行いました。

まず、当初質問において、平成二十九年年度予算の編成に際して財政部から示された十%のマイナスシリーディング査定の内容と考え方について、財政部長及び市長に質問しました。



続いて、財源不足を理由に草刈りや清掃活動など、一般市民の身近な予算を削減しているのに、平成二十九年年度の予算案は四百九十六億五千万円と過去最大規模となっている点を指摘し、市債の発行額や市債残高を増やしてまで編成した予算の意義や意味を質しました。

実際、日頃市民の皆様から聴く声には「一体、津山市はどの方向に向かおうとしているのか」という疑問が多く聴かれます。また、何を持って、この厳しい自治体間の生き残り競争を勝ち抜こうとしているのか、一貫性が見えないという不満も良く耳にします。

私は、そのような市民の皆様の声を集約し、「これを持って、津山の人口減少を食い止めるのだ」というような、具体的な施策を示すよう市長に求めました。しかしながら、今回も、政策調整室など市長部局担当者が作成した、施政方針に盛り込まれた項目を並べるような、これまでと変わらない答弁に終始されました。

▲裏面に続く

無党派・無所属

活気ある津山へ 未来志向改革!!

発行 政岡あきひろ事務所 〒708-0014 津山市院庄 621-2 Tel.0868-28-0501 Fax.0868-28-4437 E-mail masakape@ebony.plala.or.jp
市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>



これまでも、市長自身の言葉で、これを持って津山を県北の雄都足らしめるのだという、強いリーダーシップが感じられる発言を語るよう求めて来ましたが、今回もまた、これまでに繰り返してきた答弁を踏襲した内容の答弁でした。

そこで私は、今後津山市が向かうべき方向性についてトップが明確に示す必要があり、例えば〇〇の為に税金を使いたいの、□□の部分については我慢して下さい、と、きちんと訴えれば、市民の皆様は理解されるし、納得もしていただけるのではないですかと、市長の政治姿勢を質しました。

さらには、そのうえで市長自らが、一緒に辛抱して下さい、と、いう姿勢を示せば、市民も共に苦勞をして頂けるのではないですか、と、自らが規範を示すことの重要性を提言しました。

この質問に対して市長は、新たな総合計画の実現や、人口減少に歯止めをかけるための事業への取り組みを推進するためには、あらゆる面に

において市民の皆様、さらなる協力が必要であると答えられました。一方で、自ら示すべき具体的な行動や姿勢については、何も語られませんでした。

私は、今後津山市が生き残るための明確な方向性の提示について、再度明確な答弁を求めました。しかし、残念ながら市長自身の熱い思いがこめられた言葉は聴かれませんでした。本当に、何かに特化したといえるような、積極的な取り組みが必要だと思えます。

例えば私は、津山で子育てをすれば偏差値が上がる、という位に教育に特化した施策実施を行い、若い世代の移住・定住への大きなインセンティブを醸成するとか、或いは、サッカーのブランド校でもある作陽高校を念頭に置き、人工芝グラウンドの増設を図り、スポーツツーリズムの視点から交流人口の増大を図ることなどを提案しました。

さらには、その動きと津山高専への支援強化などを絡ませ、活性化の目玉とするような施策など、何かに特化することの必要性を粘り強く訴えました。しかしながら、これまでに二年間の質疑を通して聴いてきた「あらゆることを、力の限り」という内容を越えた答弁は得られませんでした。

そのような、もどかしいやり取りに終始しましたが、最後に、津山市が子供や孫の世代になっても、県北の雄都であり続けるために、何かに特化したといえる、積極的な取り組みや施策実施を提言しました。市長からは「議員の考えに、同感である」

という答弁を得ました。今後、それが実践されることを確認していくつもりです。

一般質問を終えて

私は、繰り返し述べていますが、いわゆる「市長派」でも「反市長派」でもありません。是々非々の視座に立ち、市民の皆様からお聴きする声を議会や行政の場で代弁しているつもりです。結果的に、本会議における質問内容が厳しい内容になりがちなのは、そのような市民の声が投影されているからだと考えています。

また、この姿勢はこの二年間全く変えておりませんし、ぶれてもいないつもりです。実際、そのような私の姿勢により、議会内部の空気も変わってきたように思います。少しずつですが、市民感情を意識し市民の声を代弁するような行動をすべき、というような気運も感じるようになってきました。

とはいえ、今の津山市や議会は、まだまだ改革しなければならぬことが山積しています。これからも、初心を忘れずに取り組んで行く所存です。市民の皆様におかれましては、忌憚の無いご意見をお聞かせいただき、一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

さらには、私達の津山市が子供や孫の世代においても、県北の雄都として輝き続けられるように、一緒に取り組んでまいりましょう。今後とも、よろしくお願いいたします。

